

(注) 大学入試センター試験の「地歴」、「公民」及び「理」(物, 化, 生, 地学)において, 1科目のみを課している場合は, 第1解答科目として選択解答すること。

学部・学科等名及び入学定員等 (平成29年度 志願倍率)	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の入 試方法等				
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の区分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	楽 典	美 術	小論文		実 技	面 接	配 点 合 計	
工学部 (2.7) 440人 前期 320 後期 58 その他 62	前期 2月25日	機械工学科 94人 前期 63 後期 13 その他 18	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数II・数III・数A・数B 物基・物, 化基・化から1 コ英I・コ英II・英表I		センター試験	100		50		200	200	150						700	推薦 国バカレア 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300	150	100									
							計	100		50		500	350	250						1250	
	後期 3月12日	電気電子工 学科 78人 前期 56 後期 12 その他 10					センター試験					450	350	200						1000	
		個別学力検査															200				
							計					450	350	200				200		1200	
		建築学科 55人 前期 44 後期 7 その他 4					センター試験														
		個別学力検査																			
							計														
		環境化学プ ロセス工学 科 35人 前期 26 後期 5 その他 4					センター試験														
		個別学力検査																			
							計														
		海洋土木工 学科 48人 前期 31 後期 5 その他 12					センター試験														
		個別学力検査																			
							計														
		情報生体シ ステム工学 科 80人 前期 60 後期 10 その他 10					センター試験														
		個別学力検査																			
							計														
		化学生命工 学科 50人 前期 40 後期 6 その他 4					センター試験														
		個別学力検査																			
							計														

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 「地理歴史」及び「公民」は、この2教科を同一の試験時間において実施するが、出題教科としては、それぞれ独立した教科である。
- 「地理歴史」、「公民」及び「理科②（物、化、生、地学）」の試験時間において、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とする。
- 「地理歴史」及び「公民」を課す学部・学科等において、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、それぞれ第1解答科目の成績を利用する。
その際、本学が指定している教科・科目以外を第1解答科目としている場合は、その教科は、利用できなくなり、その結果、出願要件を満たさないことがあるので注意すること。
- 「理科」を課す学部・学科等において、指定した科目数を超えて受験している場合は、以下のとおりとする。
 - 「理科①（物基、化基、生基、地学基）」の試験時間において2科目及び「理科②（物、化、生、地学）」の試験時間において1科目を受験した場合は、前者2科目の合計点と後者の得点のうち、得点の高い方を利用する。
 - 「理科②（物、化、生、地学）」の試験時間において2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を利用する。その際、本学が指定している科目以外を第1解答科目としている場合は、その教科は、利用できなくなり、その結果、出願要件を満たさないことがあるので注意すること。
- 「数学」を課す学部・学科等において、指定した科目数を超えて受験している場合は、得点の高い科目の成績を利用する。
- 「数学」において『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択解答することができる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限る。
- 『英語』には「リスニング」を含む。また、『英語』において「筆記」のみを受験し「リスニング」を受験しなかった者は、本学の指定する教科・科目を受験していない者として「出願無資格者」とする。
『英語』以外の科目を受験した者及び「リスニング」の受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用する。

【個別学力検査等】欄

出題範囲

- 数学
 - すべての出題科目において、数Ⅰの知識を有することを前提とする。
 - 「数Ⅱ」、「数Ⅲ」及び「数A」は、すべての単元を出題範囲とする。
 - 「数B」は「確率分布と統計的な推測」、「数列」及び「ベクトル」の3項目を出題し、その中から選択解答する。
- 理科
 - 「物基・物」は物理基礎、物理の全範囲から出題する。
 - 「化基・化」は化学基礎、化学の全範囲から出題する。
 - 「生基・生」は生物基礎、生物の全範囲から出題する。
 - 「地学基・地学」は地学基礎、地学の全範囲から出題する。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- 配点に*を付してある教科は選択教科を表す。
 - 教育学部において、大学入試センター試験の数学及び理科に*を付してあるものは、「数学2科目・200点、理科①2科目・100点又は理科②1科目・100点」、あるいは、「数学1科目・100点、『理科①2科目・100点と理科②1科目・100点の計200点』又は理科②2科目・200点」の配点となる。
なお、数学及び理科を合わせて4又は5科目受験している場合は、(i)数学の得点の高い科目、(ii)「理科①（2科目）」と「理科②の第1解答科目」のうち得点の高い方、(iii)残りの科目のうち得点の高い科目の成績を利用する。
 - 理学部生命化学科（前期日程）における個別学力検査の教科・科目は、「数Ⅱ・数A・数B」、「物基・物、生基・生から1」、「化基・化、地学基・地学から1」のうちから2科目を選択解答する。数学及び理科を選択解答した場合は数学200点と理科200点の配点、理科2科目を選択解答した場合は理科400点の配点となる。
- 配点に※を付してある教科について
 - 法文学部法経社会学科法学コース（後期日程）において、大学入試センター試験を指定した科目数以上受験している場合、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目と『理科①（2科目）』と『理科②の第1解答科目』のうち得点の高い方と「国語」及び「数学」のうちから得点の高い2科目の成績を利用する。
 - 法文学部法経社会学科地域社会コース・経済コース（後期日程）において、大学入試センター試験を指定した科目数以上受験している場合、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目と『理科①（2科目）』と『理科②の第1解答科目』のうち得点の高い方と「数学」のうちから得点の高い1科目の成績を利用する。
 - 法文学部人文学科多元地域文化コース（後期日程）において、大学入試センター試験を指定した科目数以上受験している場合、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目と「数学」のうち得点の高い1科目の成績を利用する。
 - 教育学部学校教育教員養成課程実技系初等中等教育コース美術（前期日程）における個別学力検査等の配点は、美術（筆記）50点、実技250点（必須150点及び選択100点）である。
 - 理学部物理科学科（前期日程）における大学入試センター試験の理科の配点は、2科目で200点（物理100点、選択科目100点）である。